

件名	＜第3回 蒲田都市づくり推進会議 議事概要＞	
日時	平成25年1月29日(火) 10時から12時	場所：大田区役所本庁舎2階201～203会議室
出席者	委員22名出席（うち3名代理）、オブザーバー1名出席、傍聴者21名	
配布資料	第3回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

#### ◆開会・挨拶

- ・中井座長より開会挨拶

#### ◆資料説明

- ・大田区事務局より、第2回蒲田都市づくり推進会議での指摘事項と到達点、蒲田のまちづくり座談会の概要、蒲田駅周辺再編プロジェクトの概要の説明、バーチャルリアリティ（VR）による説明
- ・事務局より、初動期整備計画の検討、中長期整備指針の検討、整備プログラムの検討、低炭素都市実現に向けての説明

#### ◆意見交換

##### 座長)

資料12の蒲田駅周辺再編プロジェクト 低炭素都市の実現に向けては、今回初めての資料ですが、初動期整備や中長期整備指針との関係性はどうかになっています。

##### ⇒大田区)

低炭素都市の実現は、時代を反映して、今のまちづくりを考える上で、重要な事項だと考えています。初動期、中長期とプロジェクトを時間軸で分けていますが、全て出来上がった時に低炭素都市を実現するという事ではなく、初動期でも取り入れられる所があれば、個別でも取り入れて、初動期整備計画、中長期整備指針とセットにして実現化が図れればと考えています。

##### 座長)

例えばタクシー・バスのシェルターに、ソーラーパネルをつけるという様な事で、初動期から対応できるものを検討していくという考え方ですか。

##### ⇒大田区)

はい、そのように考えております。

##### 委員)

環境審議会の方でも検討を行っていますが、もう少し具体的な形にしないと、お互いの連携が取れないのではないかと思います。両方で議論する必要があると思います。

##### ⇒大田区)

関係部署と連携を取って進めていきたいと考えています。

##### 委員)

西口駅前広場はタクシーの空車の列が補助37号線沿いに並んでいます。これを解決する方法はないでしょうか。

##### ⇒大田区)

西口駅前広場のバスの集約案、タクシーの集約案を、参考資料としてお示ししています。バスやタクシーの交通機能を集約する検討を行っていますので、今後も皆様方と議論をさせていただきたいと考えています。

##### 座長)

委員の皆さんが情報を共有できるように、事務局からタクシーについての現状をお知らせください。

##### ⇒大田区)

蒲田駅前のタクシーの空車の列は、昼間よりも夕方から夜間が多く、西口は、蓮沼駅の方まで、東口は、

環八まで並んでいます。

**座長)**

駅前広場の検討では、いずれはタクシーにもご協力いただくとと思いますが、タクシーの窓口はどうなっているのですか？

**⇒大田区)**

財団法人東京タクシーセンターが窓口です。

**委員)**

賑わいを生む商業のまちづくりが一番のテーマだと思っているのですが、各施策が、賑わいにどのように繋がるのかははっきり見えません。例えば新空港線「蒲蒲線」にしても、どのようにまちが活性化するのか、受け皿となる商業スペースや、滞留客を増やすための施策をどうするかが見えないと、中長期政策には繋がらないと思います。駅周辺の再開発も一緒に、老朽化による建直しだけではなく、将来像を示す議論がなければ、進まないと思います。特に商店街の商業軸は、マンション開発が進み、今後、商業軸が維持できるのかを、まず考えるべきです。

**⇒大田区)**

蒲田は商業のまちという特性がありますので、JR 蒲田駅を中心に西口、東口、京急蒲田駅に伸びる商業軸は非常に重要だと考えています。バス停の集約、自転車駐車場の出入口の設置は、商業展開に影響する事も考えられますので、蒲田駅周辺の回遊性、回遊動線の整備も大きな課題であると考えています。まち全体が賑わいのある空間になるように、多くの方にまちを歩いて頂く事に配慮して、他の関連部署と連携を取りながら今後も検討を続けていきます。

**座長)**

大田区の産業関係の部署の方は、推進会議のメンバーに入っているのですか。

**⇒大田区)**

産業関係の職員は、推進会議には入っていませんが、ランドデザインの検討委員会の委員として、日頃から連携して検討を行っています。

**委員)**

蒲田の老朽した商業施設の最たるものは駅ビルです。駅ビルについては、商業部門の方も含めて、どういうまちにして、どのような施設の受け入れの可能性があるのかを検討していかないと難しいと思います。蒲田の商業スペースが減って、このまちで買い物をしなくなっています。それにどのように対応していくのかイメージを作らないと、駅ビル、駅改修、その周辺の改修もなかなか焦点を絞れないと思いますので、商業の方とすり合わせをしながら、検討を進めて頂きたいと思います。

**委員)**

現在、西口も東口も悪質客引き防止運動をやっていますが、まちの治安のために、交番を駅前広場に配置してほしいと考えていますが、ご意見を聞きかせてください。

**⇒大田区)**

初動期計画はスペースが限られており、歩行者空間の拡幅を優先したいため、現在の計画では、交番は入っていません。中長期で、抜本的に駅前広場を変える時に、警察側とも相談しながら、可能性を検証していきたいと考えております。

**委員)**

中長期は東口にペDESTリアンデッキが出来るのですか。東口から西口に行くための自由通路は、どのように変わるのでしょうか。

**⇒大田区)**

現在は、細かい具体的な事が決まっているわけではなくて、あくまでもイメージですが、今の屈曲している自由通路を、駅ビルの建替えに合せて、東西を直線で通り抜けが出来るようにしたいと考えています。東口広場については、まず地上部のみで拡張を考えて、それでも足りない場合は、ペDESTリアンデッキでの立体利用による拡張を考えています。周辺街区の建物ともペDESTリアンデッキで繋ぐ構成にしていきたいと考えていますが、どこを通るか具体的な話はまだ決まっていません。

**座長)**

資料では、今の駅ビルの様な絵が描いてあって、自由通路は南側に寄った形になっていますが、あくまでイメージで、とりあえず真っ直ぐで、できるだけスムーズに東、西と繋げるようにしたいという意図だと理解しています。

**委員)**

駐輪場の台数 3,000 台については、大賛成しております。地下自転車駐車場出入口の資料を、もう少し詳しく説明してください。また、是非まちの方の意見をどんどん吸上げて、行政主導にならないまちづくりをやって頂きたいと思います。

**⇒大田区)**

地下自転車駐車場の出入り口は、地上からスロープで地下 1 階に降りて、そこに平置きか、そこから機械式で地下 2 階に入れる方式を考えています。地上部分からの機械式は、スペースや工事の問題もあり、現段階では大変難しいと考えています。基本的には駅前広場には極力自転車を入れさせないで、歩行者優先という観点で考えており、広場内の出入口は、歩行者専用です。自転車の出入口は(補助 36 号線、駅街路 2 号、交番横)の 3 箇所を考えています。

**委員)**

これからまだ、お話しする機会はあると思いますが、私はやっぱりスロープで地下に降ろさせるのは不便だと思います。蒲田に不便な駐輪場を作ってほしくないという気持ちがありますので、これからもっといろいろな意見を出していきたいと思います。

**委員)**

地下自転車駐車場の、安全性、防犯性はどう考えていますか。

**⇒大田区)**

他の自治体でも大規模な地下自転車駐車場の例がありますが、管理事務所を地下に設けて一定の管理を行い、スペースが広い場合には防犯カメラをつけることもあります。安全性には十分配慮します。

**委員)**

地元の方々と協議を重ねて、初動期は当面の課題をまず解決し、中長期に蒲田のまちの東西を繋ぐ自由通路についての考え方を示してください。治安に関しては、まちが変化をすれば、当然犯罪の種類も変わってくると思いますので、治安、交通の問題を総合的に考えて進めてください。

**委員)**

東口駅前広場の拡張で、都市計画変更の手続きが出ていますが、東口広場は全ての機能が入るスペースが確保できないという事なので、バスの乗車場、降車場も含め、必要な機能の整理はしっかりして頂きたいと思います。

**オブザーバー)**

現在、品川のターミナルの勉強会を始めています。これは 15~20 年位かかるプロジェクトで、リニア新幹線が品川に停まるという事を前提に、品川の駅周辺開発とターミナルの整備を検討しています。リニア新幹線が出来ると、例えば、西日本から来る航空便がリニアに転換され、羽田空港の役割が大きく変わってくる可能性があります。品川ではそういった開発計画とターミナルを考えているので、蒲田のまちも 15 年 20 年を見据えて、どんなまちにしていくのか考えていくべきです。駅前広場だけを拡張して、地下自転車駐輪場を作るのではなく、駅ビルや周辺街区の地下と連結すれば、自転車利用者にとっても利便性が高まり、周辺街区の開発事業の収益増加にも繋がります。今後、計画のすり合わせが必要だと感じました。

また、西口も東口も、他の広場の整備の例と比較すると、タクシーに面積が取られ過ぎている印象を受けます。基本的には、バスの乗降場も出来るだけ駅前広場に入れるのが原則だと思いますが、駅前広場の面積は足りない状況なので、立体利用等の手法を議論していただきたいと思います。

**⇒大田区)**

初動期に地下自転車駐車場を検討しておりますが、新空港線「蒲蒲線」の整備に付随して、全体的な地下空間のあり方が論議になると考えております。周辺街区の方々とは、勉強会等を通して、地下空間利用の可

能性を探りながら、蒲田のまち全体の活性化に寄与するものを総合的に考えていきたいと思っております。

#### 委員)

蒲田駅西口の補助 37 号線の中央分離帯の廃止ですが、現在はバスの乗降場の歩道が狭くなっていて混雑しているため、初動期で考える 1 つの案として、良い話なのかなと考えております。

#### 委員)

中長期について、最終形が今一步見えません。2000 台から 3000 台の自転車駐車場は、一度これを作ってしまうと、そう簡単に様変わりすることは考えにくいです。初動期の整備で、中長期の整備の際に足かせになる部分がないように、地元で十分に説明をし、合意を得てください。

#### ⇒大田区)

ご意見ありがとうございます。初動期は、比較的、公共空間中心なので、地元の皆様の意見を頂きながら、進めて行けますが、中長期となると、民有地が中心になります。区では、これまで民有地に勝手な絵は描けないというスタンスでしたが、勉強会等で地権者の方のご理解を得ながら、可能な限り最終形をお示したいと考えています。

#### 傍聴席) (座長から発言許可)

蒲田駅前では、自転車対策には大変エネルギーをつぎ込んでいますが、西口には自動車の駐車場が足りない状況です。他の街区から来る方には、駐車場は必須なので、ご検討ください。

#### 副座長)

先程の西口の中央分離帯の撤去の件ですが、環境基本計画で、緑や CO2 削減等を考えている中で、計画の一定の整合性を取るべきだと思います。西口の駅前広場のフラット化もそうですが、まちが殺風景にならないように、もう少し検討したほうが良いと思います。それから新空港線「蒲蒲線」は、広域の鉄道ネットワークの機能を果たすという役割が大きいので、南側は地下の連絡通路で繋ぐという考え方より、2 階のレベルくらいでうまく繋いだほうが、回遊性を高めることになるのではないのでしょうか。

#### ⇒大田区)

新空港線の駅の位置は東急蒲田の地下なので、その部分をいずれにしても掘る事になるので、その部分も自由通路として活用しようという発想です。新空港線「蒲蒲線」は、羽田空港へのアクセス強化がありますが、大田のまちづくりの起爆剤にしたいという思いもあります。

#### ⇒大田区)

先程の自動車の駐車場の件ですが、アロマスクエアの駐車場がかなり空いているので、不足しているとは考えていません。蒲田駅周辺再編プロジェクトには、駐車場を新たに整備する考えはありませんが、駐車場の状況にも目を配っていきたくと考えています。

#### 座長)

駅前広場には、①鉄道とその他の交通機関（バス、タクシー、一般車）の乗換えをスムーズに、機能的に出来るようにする、②鉄道と市街地をしっかりと結ぶ、③人が集まったり、イベントをしたり滞留できるオープンスペースとしての広場機能を確保するという 3 つの基本的な役割があります。初動期と中長期で、どのように改善できるのか、整理してください。

また、初動期の計画が、交通関係の比重が大きく、低炭素、防災、環境、緑、景観などの課題についても、是非、取り組んでいただきたいと考えています。景観の話は、VR を使ってシミュレーションをしてみるとか、考えて欲しいと思います。

それでは今日はこのくらいにさせていただきます。どうもありがとうございました。

### ◆その他

- ・今後の日程

第 4 回蒲田都市づくり推進会議 日時：平成 25 年 3 月 21 日（木）午前 9 時 30 分～

場所：大田区立消費者生活センター 2 階大集会室

平成24年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

【別紙】

◆学識経験者

委員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	【副座長】

◆地元関係者

委員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子	
蒲田西地区自治会連合会	小谷野 正義	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	片山 蔦榮 (欠席)	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男 (代理出席 飯尾松男)	
蒲田大好き委員会	望月 清志	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

◆大田区議会議員

委員

都市・環境委員会 委員長	飯田 茂	
都市・環境委員会 副委員長	鈴木 隆之	

◆東京都

委員

担当

都市整備局都市基盤部 街路計画課長	朝山 勉 (代理出席)	大野 誠 (欠席) (区部街路計画係長)	後藤 裕之 (代理) (区部街路計画係主任)
都市整備局都市基盤部 交通企画課長	花井 徹夫 (代理出席)	山本 健一 (欠席) (交通施設担当係長)	笠原 晋介 (代理) (交通施設担当係主任)

◆大田区

委員

担当

まちづくり推進部長	太田 誠一		
まちづくり推進部 再開発担当部長	杉村 克之		
まちづくり推進部参事(企画調整担当) ( 経営管理部空港担当部長 (まちづくり政策・調整担当部長兼務) )	川野 正博		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	荒井 昭二 (欠席)	大橋 英一 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部 交通企画担当課長	吉田 春彦	鈴木 誠 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部都市開発課長 (蒲田再開発担当課長兼務)	齋藤 浩一	大貫 恵二 (地域整備担当係長)	菊地 裕之 (地域整備担当係長)
まちづくり推進部 蒲田再開発担当副参事	近藤 純司		
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男 (欠席)	倉 一郎 (欠席) (防災まちづくり担当係長)	
都市基盤整備部都市基盤施設担当部長 (都市基盤管理課長事務取扱)	根本 敦	藤澤 康文 (欠席) (計画調整担当係長)	中村 満 (地域交通対策担当係長)
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	高橋 義博	貝塚 悟 (自転車対策担当係長)	
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠	仁部 弘 (欠席) (連続立体再開発担当係長)	

◆国土交通省

オブザーバー

都市局街路交通施設課	荒川 辰雄 (街路事業調整官)	東 智徳 (欠席) (企画専門官)	
------------	--------------------	----------------------	--